

タイ王室お手植え記念樹

一つ目の木(A)は 1931 年 4 月 9 日に高德院に訪問されたのを機に、ラーマ 7 世が植樹された松です。

二つ目の木(B)は元々皇太子として訪日されたのちのラーマ 6 世が植樹された松です。従来の木は 1902 年 12 月 27 日に植樹されたが、惜しくも 2009 年 9 月に虫害に遭い、枯死に至りました。現在の松は 2010 年 7 月 3 日にラーマ 9 世の勅命を受け、当時のウィーラサック・フートラクーン駐日タイ王国特命全権大使が植樹された代替木です。

三つ目の木(C)は、1987 年 9 月 25 日に来院されたのを機に当時のワシラーロンコーン皇太子（現在のラーマ 10 世）が植樹された松です。